

金沢マラソン2025大学連携成果発表会
2026.03.21
金沢市学生のまち市民交流館

金沢マラソンボランティア リーダーの評価と展望

金沢大学 スポーツ社会学研究室

金丸涼泉 岩山珠音 淀川理久 加藤楓斗 佐藤広彩 佐川哲也

KM2025ボランティア参加者とボランティア調査

ボランティア参加者総数	4,824人
ボランティア調査対象者数	4,824人
回答者数	814人
有効回答者率	16.8%

リーダー確率

$$\frac{\text{ボランティア総数}}{\text{リーダー総数}} = 17.0$$

17.0人に1人がリーダー

ボランティアリーダー総数	284人
ボランティアリーダー調査対象者数	284人
回答者数	98人
有効回答者率	34.5%

調査対象者の属性

ボランティア
全体

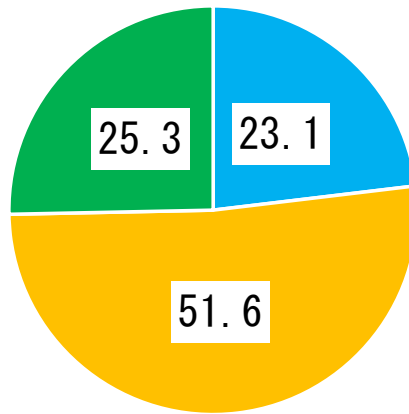


図1-1 年代別構成

- 10-20代
- 30-50代
- 60-70代

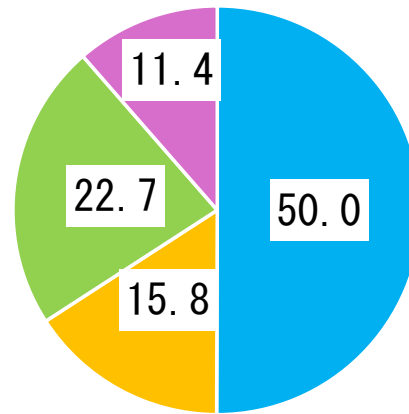


図2-1 参加回数別構成

- 1回
- 2回
- 3-6回
- 7-9回

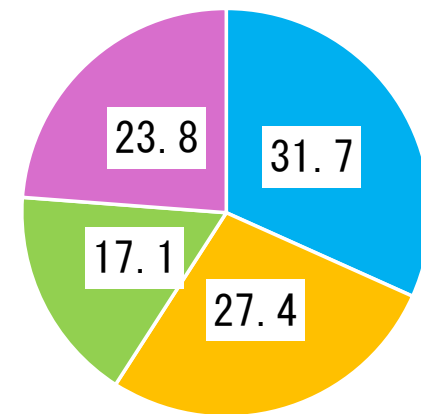


図3-1 活動内容別構成

- 沿道の整理
- 給水・給食
- ランナー受付
- その他

ボランティア
リーダー

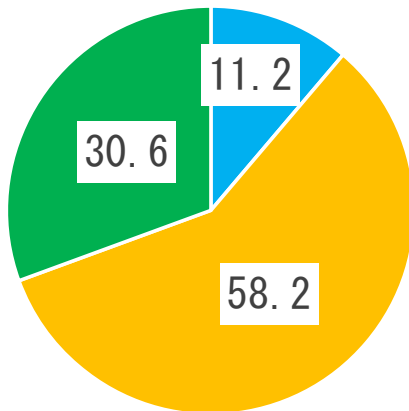


図1-2 年代別構成

- 10-20代
- 30-50代
- 60-70代

データなし

図2-2 参加回数別構成

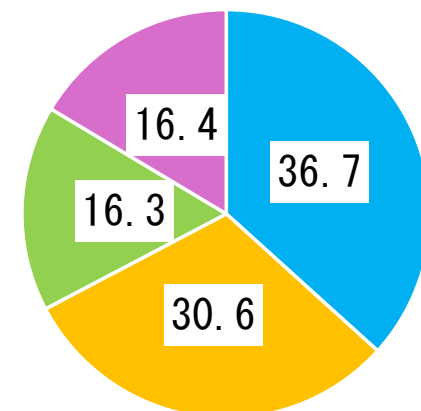


図3-2 活動内容別構成

- 沿道の整理
- 給水・給食
- ランナー受付
- その他

ボランティア参加者から見たリーダー評価と担当意向

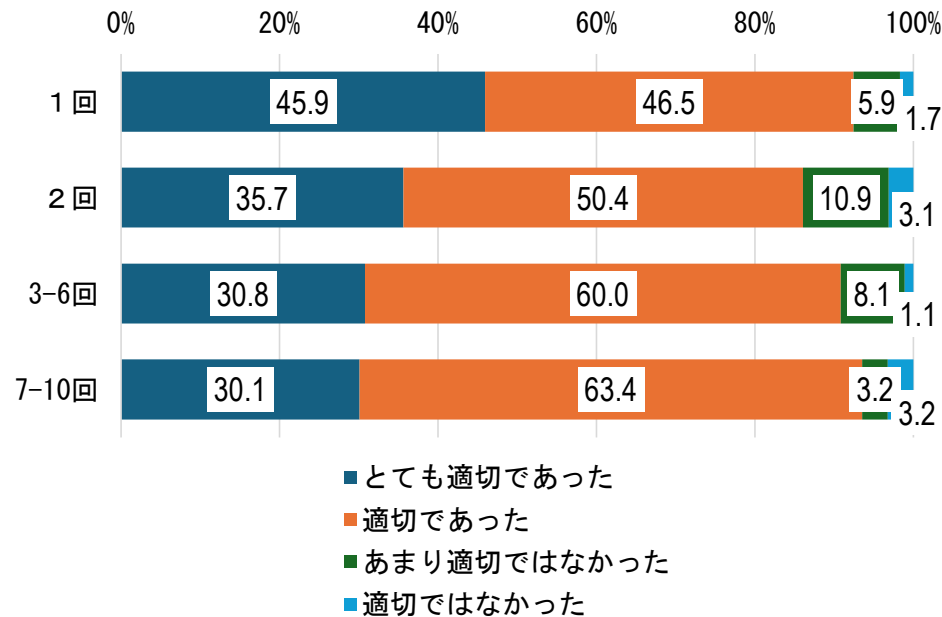


図4 リーダーの対応に対する所見

- ・参加回数の多い者ほど「最も適切である」が減少する傾向
- ・評価基準が厳しくなる可能性あり

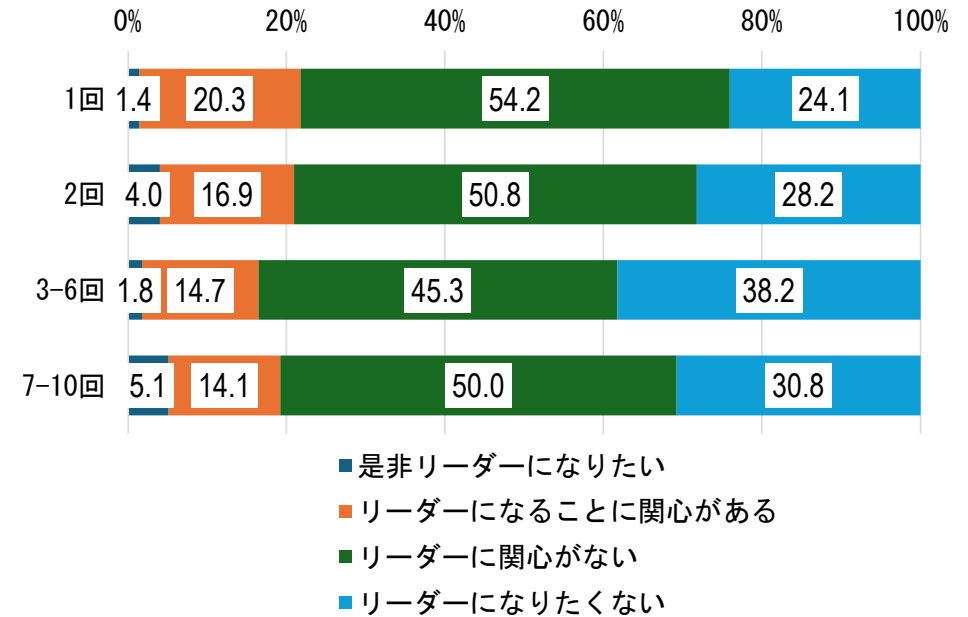


図5 リーダーを担当することへの意向

- ・「リーダーに関心がある」者は20%前後
- ・参加回数が増えても、大きな変動はない

ボランティアリーダー（回答者の属性）

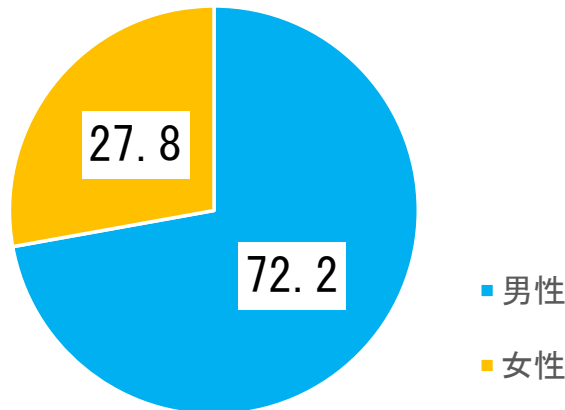


図6-1 性別構成

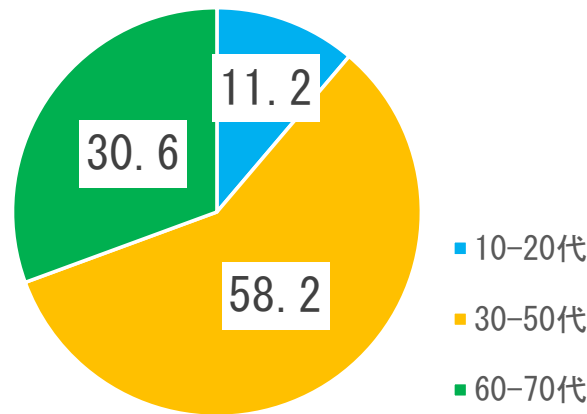


図6-2 年代別構成（再掲）

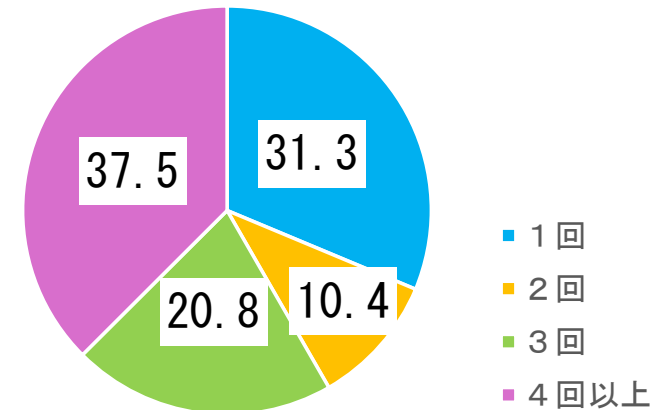


図6-3 回数別構成

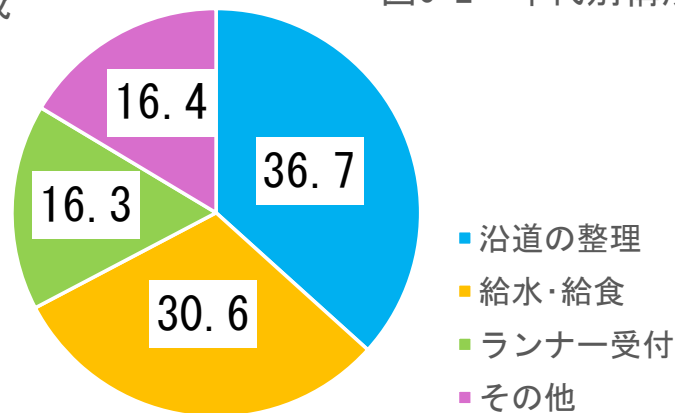


図6-4 活動内容別構成（再掲）

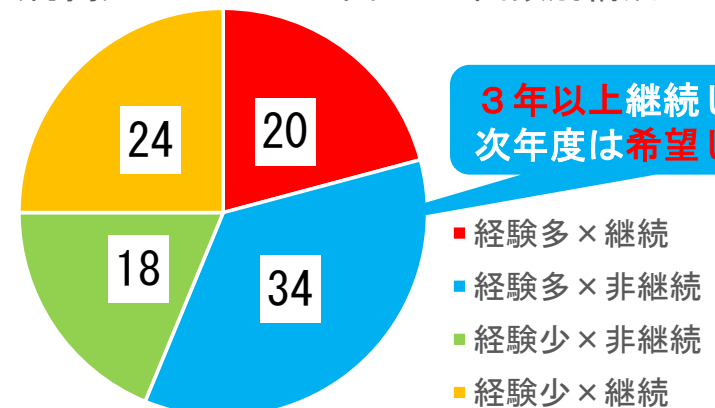
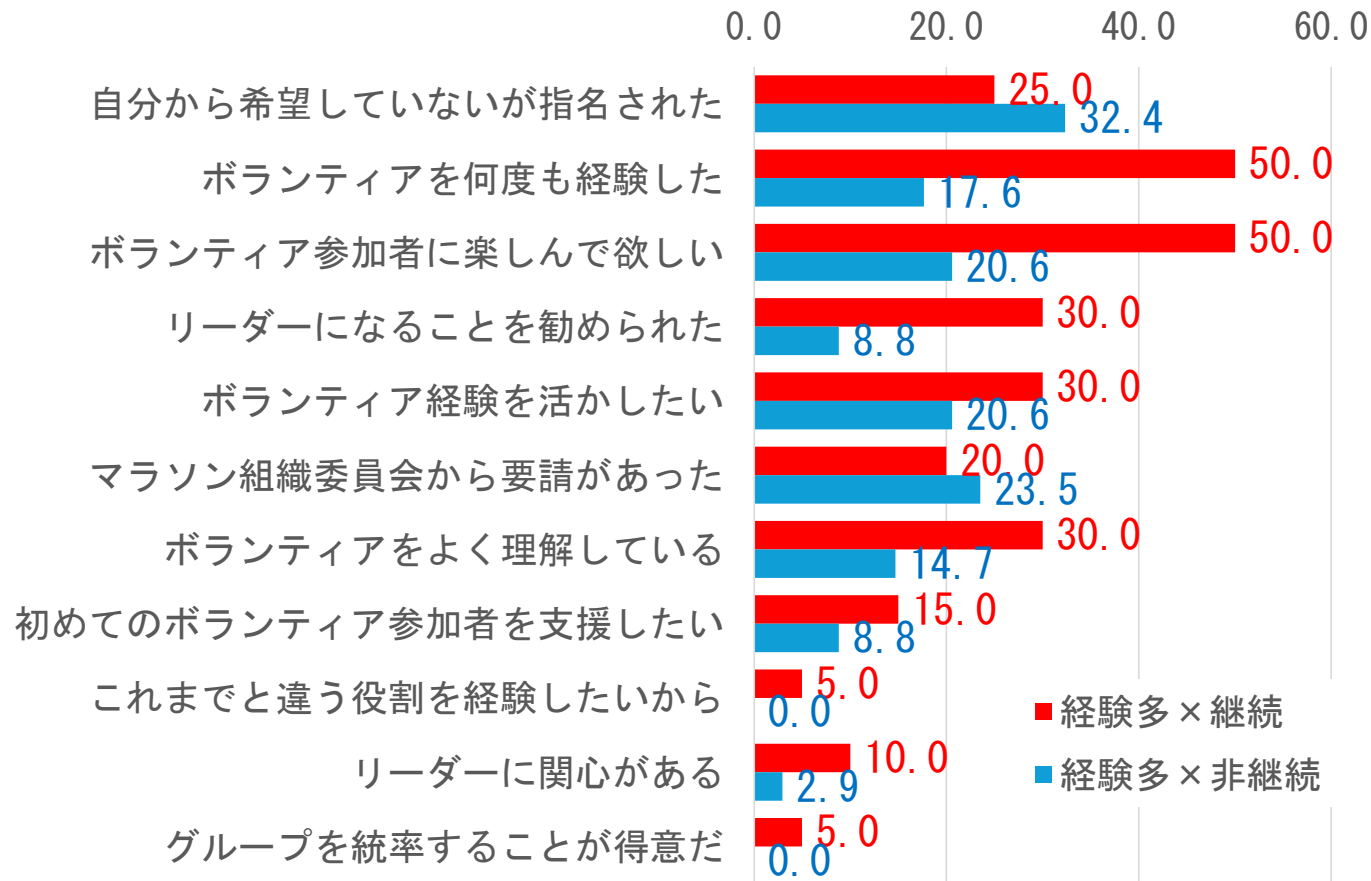


図6-5 経験 × 継続の構成

3年以上継続しているが、次年度は希望しない者

ボランティアリーダーを希望した理由



経験多×継続群 (20名)

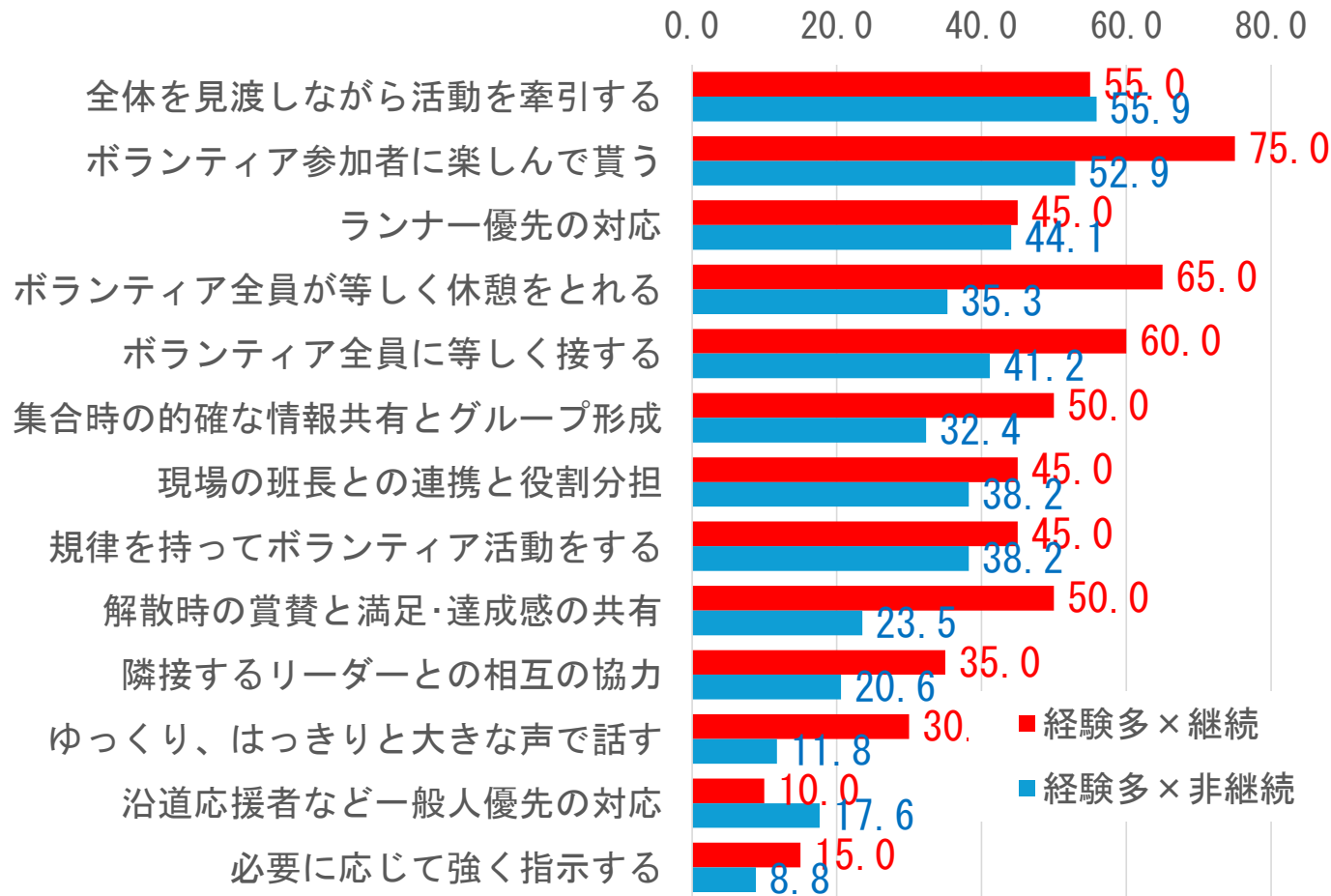
- ▶ 何度も経験したから
- ▶ ボランティアを楽しんで欲しいから
- ▶ 勧められたから
- ▶ 経験を活かしたいから
- ▶ よく理解しているから

経験多×非継続群 (34名)

- ▶ 指名されたから
- ▶ 要請があったから

図7 ボランティアリーダーの希望理由 (複数回答)

リーダーとして注力した事項



経験多×継続群 (20名)

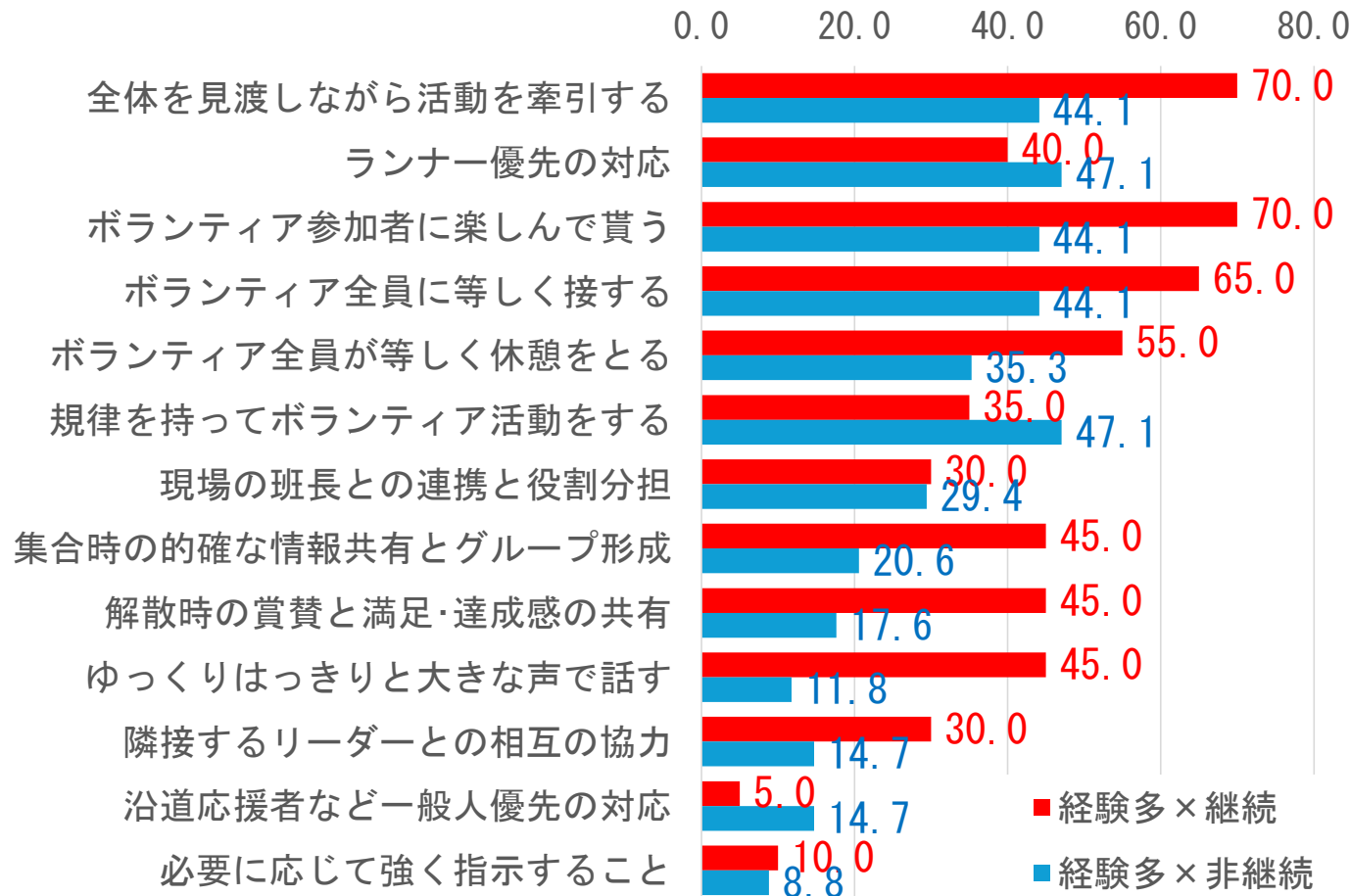
- ▶ ボランティアを楽しんで貰う
- ▶ 全員が等しく休憩する
- ▶ 全員に等しく接する
- ▶ 全体を見渡して活動を牽引
- ▶ 集合時のグループ形成
- ▶ 解散時の賞賛と達成感共有

経験多×非継続群 (34名)

- ▶ 全体を見渡して活動を牽引
- ▶ 参加者に楽しんで貰う
- ▶ ランナー優先の対応
- ▶ 全員に等しく接する

図8 リーダーとして注力した事項 (複数回答)

リーダーとして「よくできた」事項



経験多×継続群 (20名)

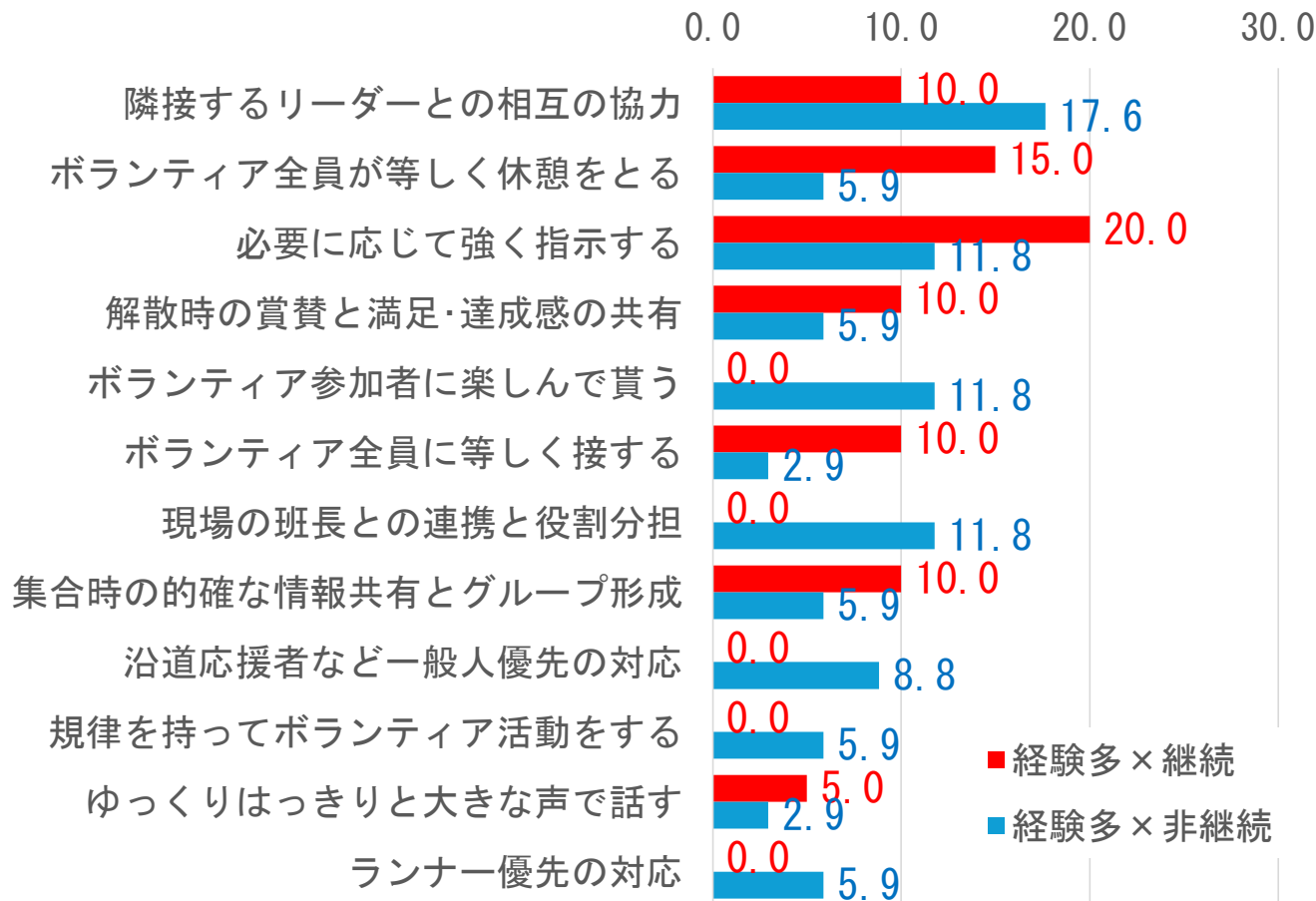
- ▶ 全体を見渡して活動を牽引する
- ▶ ボランティアを楽しんで貰う
- ▶ 全員に等しく接する
- ▶ 全員が等しく休憩する
- ▶ 規律をもって活動する
- ▶ 集合時のグループ形成
- ▶ 解散時の賞賛と達成感共有
- ▶ ゆっくり大きな声で話す

経験多×非継続群 (34名)

- ▶ ランナー優先の対応
- ▶ 規律をもって活動する
- ▶ 全体を見渡して活動を牽引する
- ▶ ボランティアを楽しんで貰う
- ▶ 全員に等しく接する

図9 リーダーとして「よくできた」事項 (複数回答)

リーダーとして「できなかった」事項



経験多×継続群 (20名)

- ▶必要に応じて強く支持
- ▶全員が等しく休憩すること

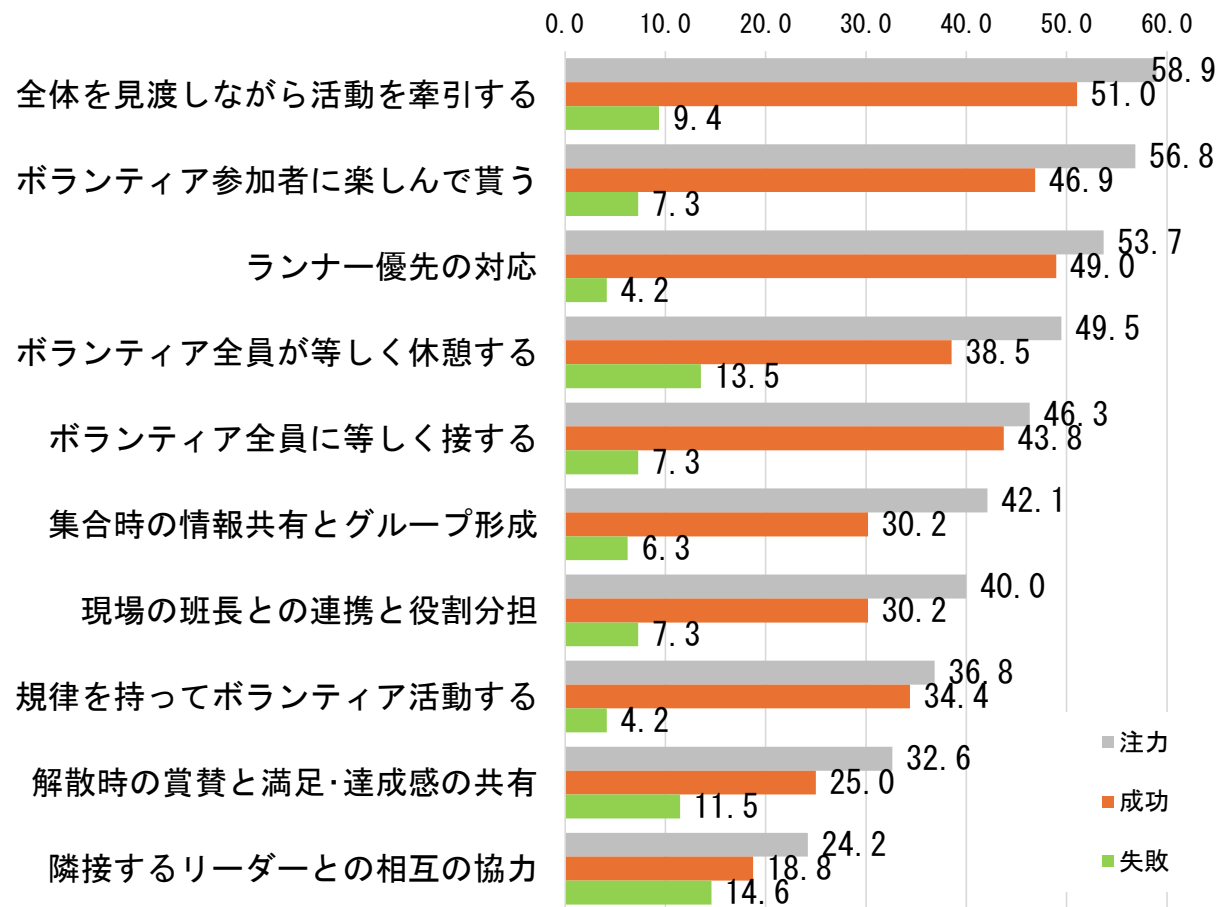
0.0%の項目が多くなっている

経験多×非継続群 (34名)

- ▶隣接するリーダーとの相互協力

図10 リーダーとして「できなかった」事項 (複数回答)

リーダーとして、うまくできたこと、できなかったこと



うまくできたこと

- ▶ 全体を見渡した活動の牽引
- ▶ ランナー優先の対応
- ▶ ボランティアに楽しんで貰う
- ▶ 全員に等しく接すること
- ▶ 全員が等しく休憩すること

うまくできなかったこと

- ▶ 隣接するリーダーとの協力
- ▶ 全員が等しく休憩すること
- ▶ 解散時の賞賛と達成感の共有

活動内容で評価は異なる

図11 リーダー活動の注力，成功，失敗の比較（全体）

リーダーとしての責任は果たせたか

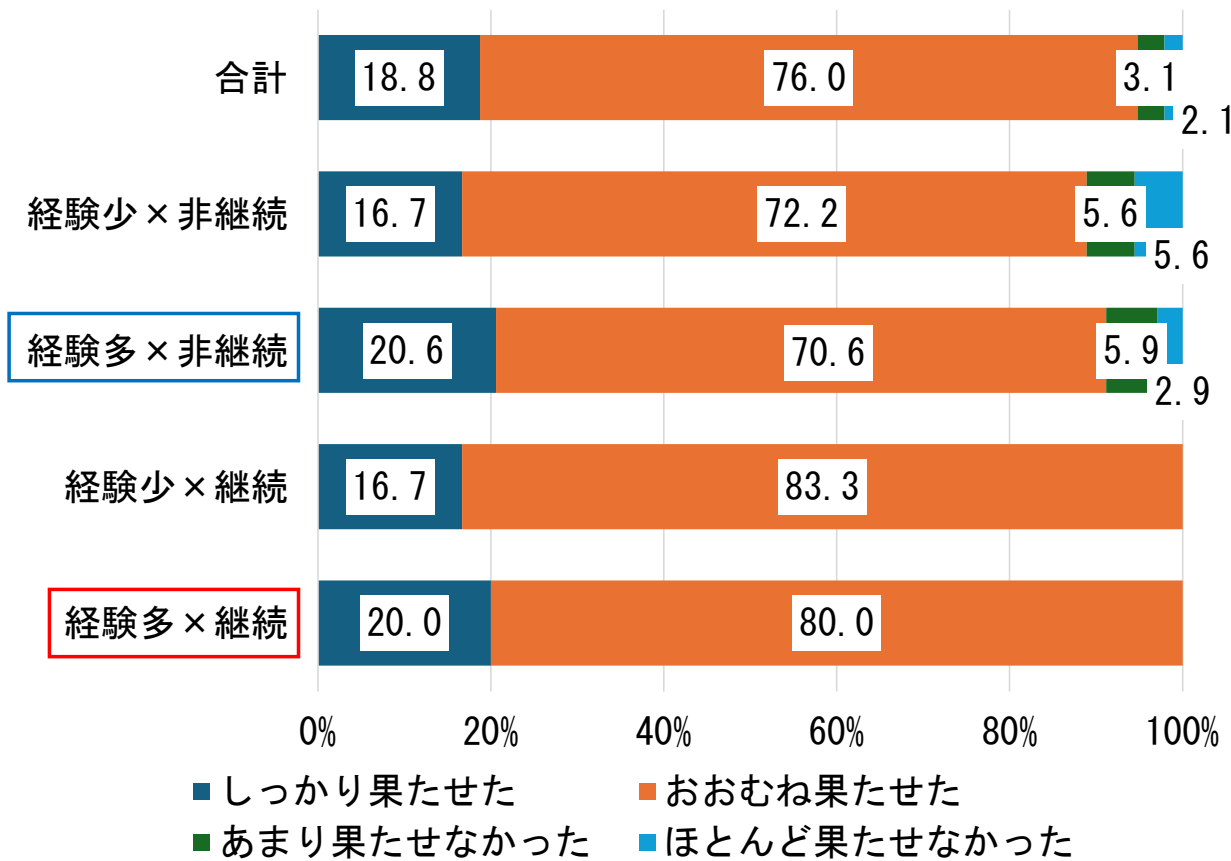


図12 リーダーとして責任を果たせたか

全体として、
9割以上が、責任を果たせた

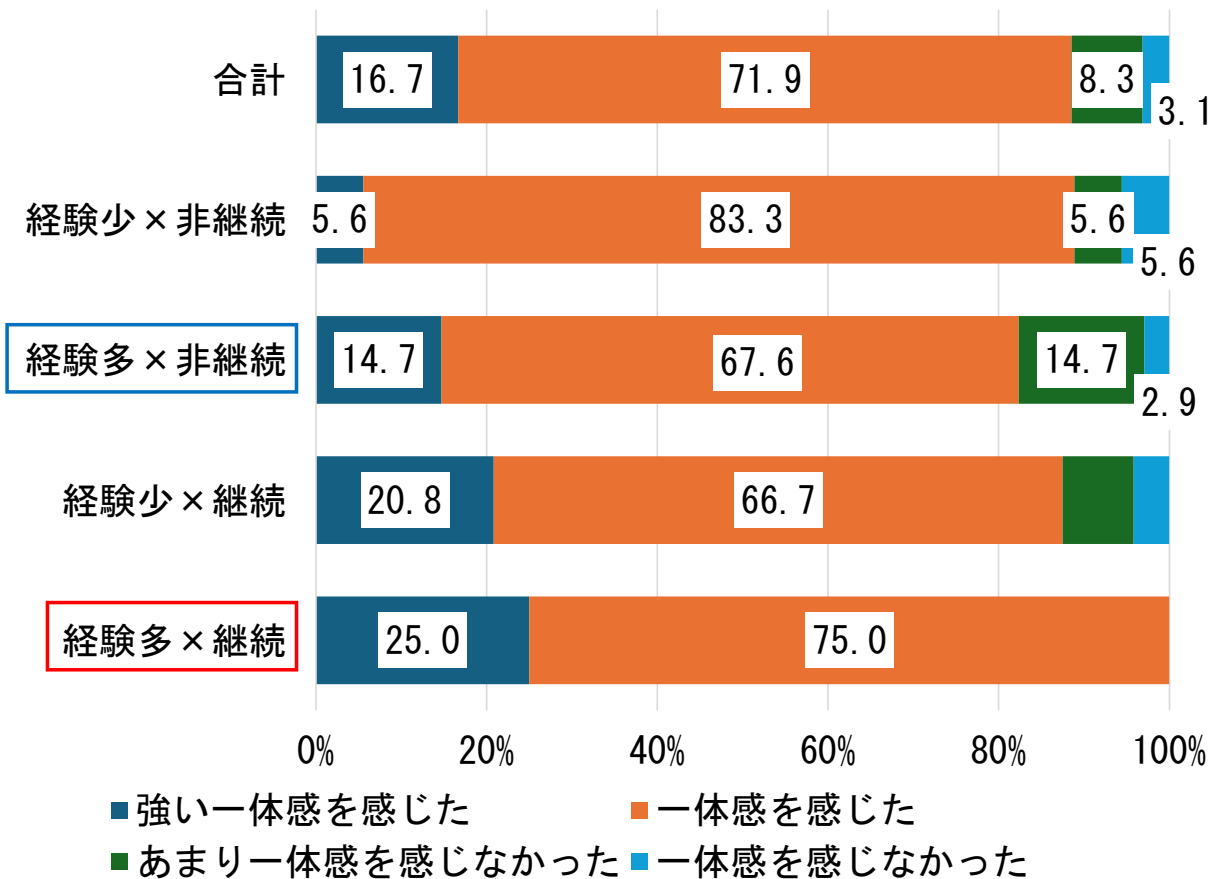
「しっかり果たせた」は
4群に大きな相違は無い

非継続群は
「果たせなかった」実感者あり

継続群は
「果たせなかった」は0%

リーダーとしての責任感充足が
次年度のリーダー希望に繋がる

一般ボランティアとリーダーの一体感



全体として、

約9割以上が一体感を感じた

継続群は、

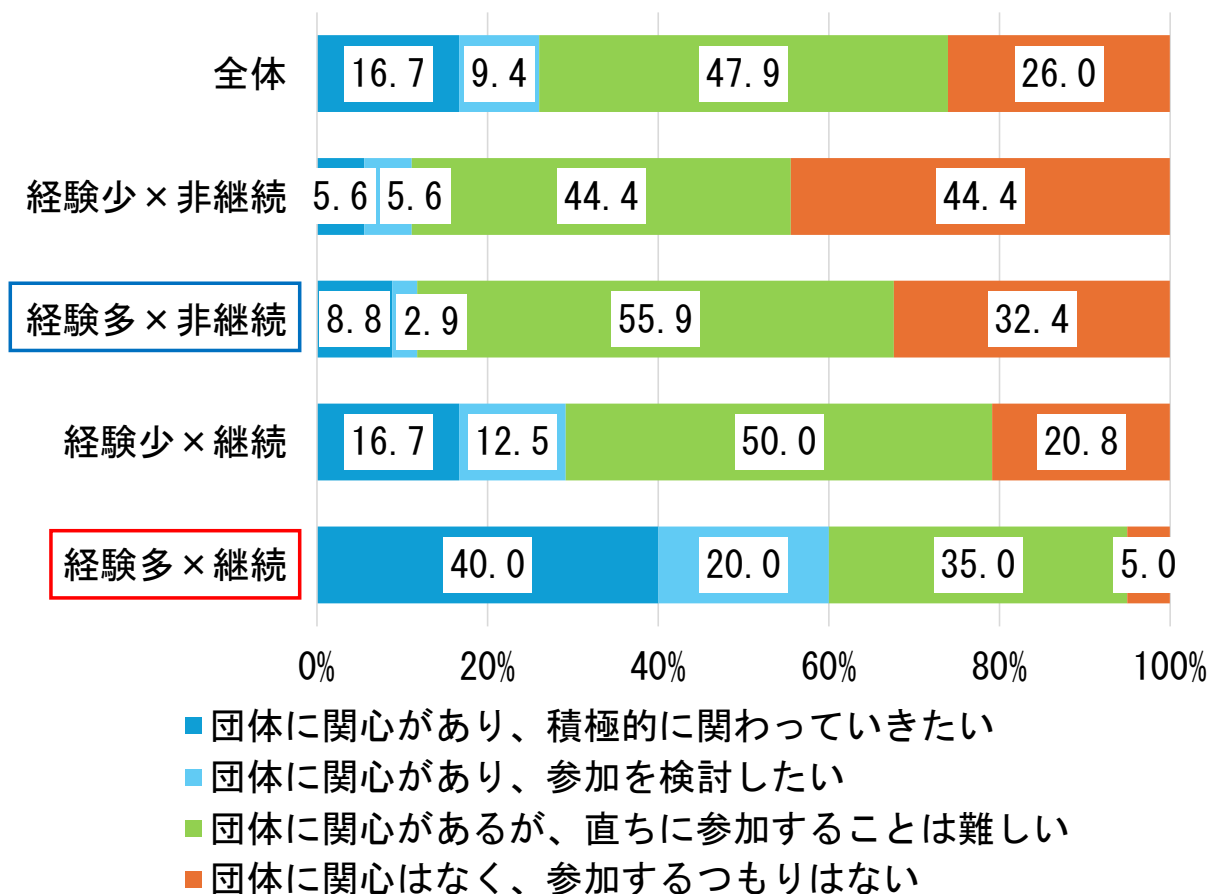
一体感が高くなる

経験多 × 継続群は

「感じない」が0%

図13 一般ボランティアとリーダーとの一体感

経験の多少，継続の意向で意見が分かれる組織化



全体では、

積極的 2 割弱，賛成 1 割弱
不参加は 3 割弱

非継続は経験多でも消極的
経験少でも，継続は積極的
経験多 × 継続が最も積極的

積極派（経験多 × 継続者）

4 割が積極的関与希望
2 割が参加を検討

図14 ボランティアの組織化に対する意見分布

総括：リーダーが活躍するボランティア体制をつくろう

「多数回参加×非継続希望」が意味すること

- 経験年数は長い(3年以上)が「継続を希望しない」リーダーが存在する
- 「希望しないが指名されたから」「要請があったから」の割合が高い
- 経験年数が長くても、主体的なリーダーでないケースがあるかもしれない

「多数回参加×継続希望」者を拡大するための展望

- 経験年数が長く(3年以上)内的動機・主体性の高いリーダーが育っている
- 一般ボランティアの楽しみの最大化に喜びを感じるリーダーマインドを持つ
- 横の繋がりを求めて講習会に積極的に参加し、他都市マラソン大会にも参加
- 自らの成長に喜びを感じており、ボランティアリーダーの組織化意欲が高い

内的な意欲が高く、主体性のあるリーダーを増やそう！育てよう！

リーダーの声を集め、誰もが参加したいボランティアをつくろう！